

第3回 ロボット研究・実証拠点整備等に関する検討会 議事要旨

日 時：平成27年1月30日（金）15：00～17：00

場 所：経済産業省本館17階東4第5共用会議室

出席者：浅間委員、渡辺委員、菊地委員、加藤委員、弓取委員、森山委員、佐竹委員代理（近藤委員代理出席）、林委員代理（星委員代理出席）、大河原委員代理（袖岡委員代理出席）森委員、荒井委員代理（星野委員代理出席）、佐脇委員、戸高委員、豊島委員

議 題：1. 「福島浜通りロボット実証区域」（仮称）について
2. 消防庁からの説明
3. 菊地委員からの説明
4. 自由討議

議事概要：

（1）「福島反通りロボット実証区域」（仮称）について

ロボット革命実現会議でとりまとめられた「ロボット新戦略」のうち「福島浜通りロボット実証区域（仮称）」について、佐脇委員より紹介。

（2）消防庁及び菊地委員からの説明

ユーザーの立場から現在取り組んでいること、テストフィールドへの期待について説明。

（3）委員からの主な意見は以下のとおり。

- ・「ロボット革命実現会議」の盛り上がりを一時的なものにしてはいけない。恒久的な取組が重要。
- ・災害対応ロボットは過酷環境で機能しないと役に立たない。そのため、過酷環境を模擬し、訓練できる必要がある。
- ・このため、どのような設備を設置し、どう時代のニーズに合わせるのか等、多面的に取り込んでいくことが重要。「何でもできる」としないと独立採算は難しい。
- ・ロボットテストフィールドを単なる拠点にすることなく、「福島で出来る最先端のものはこうだ」とブランドを作る必要がある。